



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第433号

2019年12月2日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

「桜を見る会」と公文書保存のあり方

米紙ワシントン・ポストは27日、「日本首相の奇妙な物語 公文書と巨大なシュレッダー」と題した記事を掲載し、安倍晋三首相主催の「桜を見る会」をめぐる疑惑を報道しています。

この記事で、日本共産党の宮本徹衆院議員の追及を取り上げ、宮本氏が「5月9日に招待者の名簿の提出を求めたら、招待者のプライバシーを理由に資料はすでに廃棄されたと伝えられた」と紹介。「1回に1000ページの公文書を廃棄できる大型シュレッダーが日本のトップニュースになっている」と皮肉っています。

同紙は、「桜を見る会」のほか、安倍政権を揺るがした「森友・加計」の学園スキャンダルの関連重要文書なども「一部は改ざんされ、一部がシュレッダーで廃棄された」とし、「安倍政権の公文書への秘密主義」を問題視しているのです。



功績・功労のあった方が招待されている？

そもそも、「桜を見る会」は、社会的に功績・功労があった方が招待されてきたものであり、プライバシーを理由に破棄するというのは、功績・功労のあった方への冒瀆ではないでしょうか。

さらに、参加者名簿は1年以内に廃棄するというルールとなっているというが、内閣府以外の他の省庁では、名簿が存在していることも明らかになっています。

さらに、紙はシュレッダーで廃棄できたとしても、電子データで復元できるのではないかとの質問に、菅官房長官は、「できないものと聞いている」と責任転嫁し、疑惑解明に背を向けています。

八千代市でもかつて公文書の改ざんが

秋葉前市長の時に、庁議（部長会議）の議事録が、5ページものとして作成されたのに、3ページものに削減されるという事態が生まれました。

それまでの議事録は、要点筆記ではなく全文筆記で議事録が作成されていました。ところが当時の市長は、職員に対し「要点筆記でいいのでは」との指示を行い、書き直しを命じたのです。

国であれ、地方自治体であれ、どのような議論を経て決定されたのか、意思形成過程情報（審議経過）も含めて、公文書として保存されなければなりません。そうでなければ、歴史の検証に耐えることはできません。

公文書は民主主義を支える国民の財産

役所がつくる公文書・公的な記録は、民主主義を支える国民の財産です。安倍政権の下で、特に組織的にルールが破られていることは民主主義の危機と言わざるを得ません。日本共産党は、民主主義破壊の策動を許さず、「国民こそ主人公」を貫いて奮闘する決意です。